こんにちは。 はですね たちが ニュースルームの というものについて をしていきたいと。 はのまで のそしてアジアと テレビでニュースキャスターと リポーターをしていましたが この しました。 テレビというので ニュースをことに をじていたからです。 はですが ニュースというのは から もしくはものだと くらいしか。 のように はそんなに シンプルではないですよね？ やにたちの そしてな のというのは とてもです。 えば こんなことがありました。 がかつての のの をした のにする ののたちのに のたちが こんなことをうんです。 「がなくなったら。 するがなくなってしまう。 ももでいて がなくなったら のは どんなになってしまうのか？ さん このことも てください。」 しかし ながら このインタビューは そののニュースでされませんでした。 なぜなら その かぶりに ではのにする ながされていました。そののニュースのテーマは まさに「の」。 なので がなくなったら です というが はなかなか られなかったんですね。 すぐさまから のにをして 「をですか？ のをうえでは まさにいけない だったんじゃないんですか？」 「 は。 はだが のテーマからしまう。 また そのなをには にはが は」 おりになってしまいました。 そして もよくの の。 パニックをはいけない なをはいけない をはいけない スポンサーのにはいけない なから がこのの のニュースをのは にデリケートなとして えられています。 みんな です。 ただ インターネットを がいる テレビやをも なかなかのことがからない そうしてを いくも いらっしゃるんじゃないでしょうか？ でと やそののから にいるの。 のがから のには 「のはを なことになる」 こうしたをするたちはいました。 しかしながら でに このニュースがようになるのは がに こののを にしてからのことです。 どうでしょうか さん？ たちがニュースルームというのを えなければいけません。 から パリにを なきというグループが のの ランキングというのをしました。 はのから にしてしまっています。 も ことがある えきれないことがある こうしたジレンマを いるは ちだけではありません。 ニュースになたちが をめようと スタートさせています。 そのが が たちとにげた 8bit news という インターネットを のニュースサイトです。 これはをしてもらえれば のがでも のスマートフォンなどを でしたをインターネットに アップロードすることができるみです。 これまでにサービスからで 1,のがされて のは ヵからアクセスがありました。 が もちろん そしてTPP など なかなかテレビやをいても こないような なのというのも でがってくるようになりました。 ニュースをしたいというがいれば メディアのがに するをしたりとか のにのったりもします。 いるこのは にいた のが 「のでののを しっかりのに のことをい」 そうを のに にでたときのです。 はにに のところに 「かがものを にはないか？」 にくれました。 なので は カメラのの の なをとシェアをして に。 きたは にものばかりでした。 がになったか にも ので のピンハネがいたり は のが のもまま でいたり はですよ でのがないのに あたかも そこで があるかのように のが のにいくような というのも とでされていました。 この インターネットにが アップロードされてから テレビ などが に には そののに がに に アンケートを はが のにをと のをするための アクションというのが これはののが を したから きたことです。 そうしたで は やはり 。 のようなを と にいるのたちが してニュースをようになれば しないというのは なにかされるんじゃないか？ その と しておきたいのは このの オープンジャーナリズムと パブリックアクセス。 まずオープンジャーナリズム というは まさに8bit news で していることです。 ニュースのを まず おもてに そのにのたちが や ・を みんなでニュースを いくです。 ただ この「」とときに ものことを かべるかもしれませんが そうじゃないんです。 この「」のには にきているような の さん さん さん そして のでも なをいる まさにの であるケースもあります。 そうしたをたちと が オープンなでをしながら どんどんどんどんニュースのを していく というみ これがオープンジャーナリズムです。 イギリスのの ガーディアンのが こんなことをっています。 「ジャーナリストは でのではない」 つまり これだけして の なたちとのがなければ のジャーナリズムは できない というものです。 つまり これまでは ニュースというのは して して がでるまで そのというのは オープンにされてきませんでした。 しかし そのをすれば ではメディアに がなくなり ではスピードで をに するができあがる そういったにえられたものです。 もうが パブリックアクセス この いたことがありますか？ をと のには いるで ではで いないなんです。 パブリックアクセス つまり のはであれば でもアクセスすることができる ことができる っていうのも のですよね？ ですので では でもにを することができる というのはされています。 アメリカではから にかけての のときに そしてでは がしたときに がにされました。 かががを がを に したいというに そのをに テレビはしなければいけない というがでされています。 イギリスでは のBBC が のをだけではなくて BBC のカメラマンやディレクターが とになって ニュースのをする そんなもけてきています。 に なことを さんとシェアしたい それは そうしたことを していくためには なにがかというと ののです。 いるは まさにのが してくれたなんですが はニュースの インタビューをするときに のをえています。 「 な をはいますが そのをするために がなんでしょうか？」 「いや をいけないね」 「をしなければいけない」 「をもらわなきゃ んだよ」 「をはいけないんだ」 こんなインタビューを これまで してたんですが あるから こう。 「いや にはな がありますよね にやも をいます それらをするために 『あなたは』なにをしますか？」 「えっ？がですか？」 「えっ？がですか？」 「そうなんです ごが が が といるこのを するために 『あなたは』なにをするんですか？」 「は じゃあ で たちにをながら もっともっとイノベーションが ようにりたい」 「はいるがにいたら じゃあ なにかを ところからい」 「『あなたは』なにをしますか？」 と をすると みんな くれるんですよね。 ニュースはメディアだけがわっても なにもわりません。 オープンジャーナリズム パブリックアクセス これがしたとしても はなにもしないといます。 しかしながら そこにをくださる そこにしてくださるが たちのでなにか をと をいただければ に これはが。 このにはもも がというたちが のおよその いるとわれています。 ので 「このをしよう」 「なにかをしよう」 と もいけない そんなのはにかもしれません。 でも のポケットのには スマートフォンなど があります。 ハイビジョンのが。 もし どうしてものを に にいるいるを どうにかというは このスマートフォンをみてください。 そして にをしてください。 を になってニュースを そして よりメディアに そのをししながら みんなでをするための を いきたい そんなでです。 ニュースをのは まさにです ニュースはだけではありません。 ニュースルームのを で ことができたら といます。 をしてください。 ありがとうございました。 ()